

1 開催の目的

都市計画審議会に答申をいただき策定した「低層住宅地区における用途地域等の見直し方針」の概要及びこの方針に基づく検討状況を示し、ご意見をいただくために開催

2 開催概要

- 実施方法
- 説明用のパネルを展示し、来場者に対し、必要に応じて職員が説明・ご意見を聴取する方法で実施。また、開催期間中は、ホームページでも資料を閲覧できるようにし、WEBフォームでも意見を募った。
- 来場者数
- 計95名
- 日時・開催場所
-

日 時		実 施 場 所
令和7年	2月26日(水) 17時から19時まで	柳沢公民館（ロビー）
	2月28日(金) 17時から19時まで	ひばりが丘図書館（講座室）
	3月1日(土) 13時から15時まで	いこいの森公園（セミナー広場）
	3月3日(月) 17時から19時まで	西東京市スポーツセンター（ロビー）
	3月6日(木) 17時から19時まで	田無アスタ2階（センターコート）

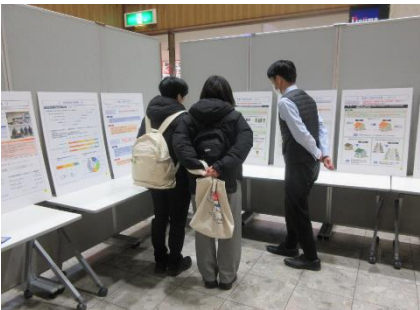
- 説明の概要
- 以下の内容を説明
- 低層住宅地区における用途地域等の見直しに関するパネル（11枚）
- 見直し方針の内容

見直し方針に基づく検討状況

これまでの経緯及び今後のスケジュール

説明の前提となる必要な用語等
- 防災都市づくり推進計画に関するパネル（1枚）
- 改定の概要

開催の様子



3 主なご意見

検討状況について【敷地面積の最低限度の指定】

- （課題に感じること）
- 1軒の住宅が建替えの際、2軒や3軒に分割されることが多いと感じる（多数）。

どんどん周りの家が細分化され、住環境が悪化していると感じる。
- （賛成）
- 防災の面など考えると早く進めるべき。火事の際に危険である。

狭い家が増えると安い街に見えてしまうため、早く入れてほしい。

近隣では定めている自治体が多いのに対し、西東京市には入っていないことが以前から気になっていた。

細分化が進んでしまうため、もっと早くやるべき。

既に敷地面積の最低限度を下回っている土地でも建築ができるのであれば賛成。

西東京市は人口密度や開発圧力が高いため、早く導入するべき。

設定面積は、少なくとも30坪(100㎡)程度ほしい。
- （反対・その他）
- 特に若者などが、土地の価格が高くて買えなくなることがないように検討するべき。

ルールには賛成だが、規制が強すぎると空き家の増加につながると思う。

100㎡と設定した場合、例えば150㎡の土地を分割しづらくなることが懸念される。

新たに規制が生じるため、引き続き丁寧に説明をする必要がある。

検討状況について【建蔽率・容積率の見直しにあわせた準防火地域の指定】

- （賛成）
- 資産価値が上がるため、建蔽率、容積率が50/100になるのは嬉しい(40/80にお住まい)。

防災の面を考えると、指定に賛成。

建替えを予定しているため、建蔽率、容積率を50/100にしてくれると嬉しい(40/80にお住まい)。

緊急車両の交通を考えると、建替えに合わせたセットバックは大事。
- （反対・その他）
- 大きな家を建てられる一方、耐火性を上げると建築にかかる費用が上がるのではないかな。

農地が多く残っているところは変えないという方向性には賛成だが、用途地域以外での農地保全も必要。

セットバックは4mでは足りないのではないかな。

その他

- 検討について賛成。スケジュールをもっと早めてもいいのではないかな。

こういった説明会は良いと思う。丁寧に説明されていて良い。

空き家が増えていると感じる。

みどりが減ってきている。

庁舎を統合してほしい。

西3・4・24号線を早く整備してほしい。